



まちづくり委員会が市長と懇談

富水地区まちづくり委員会の委員の皆さんと昨年の5月に就任した守屋新市長との地域活動懇談会が12月4日に開催されました。まちづくり委員会の各分科会長からこれまでの活動について報告があり、それについて市長から激励や感想が述べられました。また、参加者からの質問や要望も行いました。懇談会は1時間半程度行われ、新型コロナウイルス感染症対策の観点から参加人数を絞り、委員の参加者は37名でした。

世界が憧れるまち“小田原”をめざして！ 小田原市長 守屋 輝彦

本日は地域訪問4地区目となります。小田原市のコミュニティ活動は全国でも群を抜いておりますが、中でも富水地区はワイワイフェスタに代表されるように、ひとときわ地域活動が盛んな地区であると認識しております。大変ありがたく、頼もしく感じております。私は「世界が憧れるまち“小田原”」を目標に掲げておりますが、これは「地域経済の好循環」と「生活の質の向上」をめざすということです。「生活の質の向上」は、まさにみなさんが取り組んでおられる「まちづくり」そのものです。これからもお力をお貸しいただければと思います。



市政についてですが、市立病院は9月28日に県から高度医療機関に指定されました。コロナの疑似症患者だけでなく重症患者も診ることができるようになり、感染症患者のベッドも増やしました。また本日は、ミナカ小田原がオープンしました。昭和59年に土地を購入してから36年間、途中バブル等で計画が頓挫しましたが、ようやく関係者のお力でオープンができました。お近くに来られた祭には一度足を運んでみてください。

無理せずできることを！ まちづくり委員会 会長 木村 秀昭

コロナの影響で活動がなかなかできない状況ではありますが、文化・教育、広報、防犯、ミッキーの会など少しずつ動きが出てきています。みなさんで工夫して無理せずできることをやっていただきたい。



本日はざっくばらんに市長とお話ができればと思っております。

- 富水地区の地域活動 令和二年度コロナ禍のあゆみ
9月16日 文化・教育分科会 ふれあい通信編集会議
9月18日 交通安全分科会 泉中学校で交通安全キヤベーン
9月25日 広報分科会 第58号編集会議
10月24日 TOMICO
富水小学校で光る泥団子を試作
11月7日 穴部自治会 防災訓練の実施
11月18日 防災分科会 防災対策課職員を招き勉強会
12月4日 防犯分科会 西北ブロック防犯パトロール
12月17日 民児協 TC いずみでミッキーの会

参加者からの質問や要望

Q. 柳新田のメダカの公園の手入れをしていただければありがたい。

A. 以前道水路整備課が整備したものです。現在の状況を含めて確認します。

Q. 高齢者の健康増進のためにパークゴルフ場を建設していただきたい。

A. 建設は明言できないが、健康増進とスポーツの在り方を検討します。

Q. 子どもの居場所づくりについて、各地区の取り組みを束ねて、情報等を共有しやすくする役目を市に行っていただきたい。

A. 現在地域政策課では、分野(分科会)ごとに意見交換できる場を年に数回設けています。また、目新しい特筆すべき活動は連合会長会議の際に情報提供していますので参考にしてください。

Q. 「世界が憧れるまち小田原」にするために具体的に何を行うのですか。

A. 「世界が憧れるまち小田原」を実現するためには、歴史や文化に愛着を持ってそこに住み続けたいと思えるまちにすることも大事です。富水地区では諏訪の原公園の整備、大雄山沿線の魅力をフォーカスすることなどを考えています。

Q. 小田原はSDGsの未来都市に選定されていますが、具体的にどのようなことを行うのですか。

A. 実はすでにやっていることがSDGsの考えに即しています。市民や企業が自分事として捉えて行ってきたことが評価されたため選定されたと考えています。